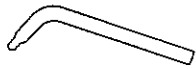
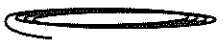
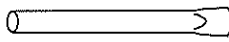
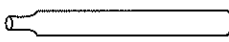
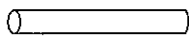
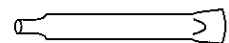
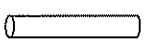
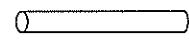
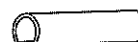
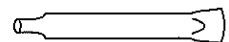
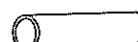
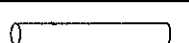
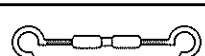
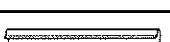
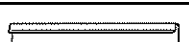
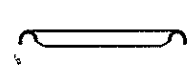
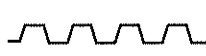
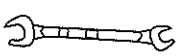
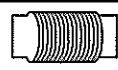


オリジナルハウス四季 OH - 2750 部材表

保存
[1606]

No.	品名	規格	数量	形 状	No.	品名	規格	数量	形 状
Aケース					Dケース				
①	アーチパイプ	25×160SA mm cm	22		②②	天ビニール	0.1×3.7×8.0 mm m m	1	
②	カラー番線	#8×12 mm m	1		②③	側ビニール	0.1×1.85×17 mm m m	1	
Bケース					②④	扉ビニール	0.1×2.0×1.3 mm m m	1	
③	脚パイプ	25×175P mm cm	22		Eケース				
Cケース					②⑤	外ジョイント	28×18cm	11	
④	横通しパイプ	22×186S mm cm	6		②⑥	ユニバーサルジョイント	28×22	2	 28×22刻印
⑤	横通しパイプ	22×140 mm cm	3		②⑦	ユニバーサルジョイント	25×25	4	 25×25刻印
⑥	前棲パイプ	25×180SP mm cm	2		②⑧	Tバンド	25×22	4	
⑦	前棲パイプ	25×71 mm cm	2		②⑨	フックバンド	28×22 25×22兼用	27	
⑧	戸受けパイプ	22×120 mm cm	1		③⑩	妻金具	25mm用	14	
⑨	ビニバー(前上)	129cm	1		③⑪	ビニバー継手		3	
⑩	ビニバー(前上)	51cm	1		③⑫	クロスワン	25×22	2	
⑪	ビニバー(前中)	60cm	2		③⑬	パイプ止金具	25用	6	
⑫	ビニバー(前下)	75cm	2		③⑭	パッカー	25mm用	8	
⑬	後棲パイプ	25×180SP mm cm	2		③⑮	パッカー	22mm用	20	
⑭	後棲パイプ	25×71 mm cm	2		③⑯	Rバンド	150m	1	
⑮	ビニバー(後共通)	146cm	2		③⑰	ターンバックル	3/8×20 cm	2	
⑯	ビニバー(後上)	75 cm	1		③⑱	ラセン杭	小	10	
⑰	ビニバー(後下)	109cm	1		③⑲	ドア蝶番	25×19	2	
⑱	扉パイプ	19×90 mm cm	3		④⑩	掛金		1	
⑲	扉パイプ	19×160 mm cm	2		④⑪	ボルトナット	M5×25	6	
⑳	スプリング	180 cm	6		④⑫	スパナ		1	
㉑	ロングパッカー	19×180 mm cm	4		④⑬	水系	約100m	1	
					④⑭	スポンジテープ	4.5×10 cm cm	16	

オリジナル 四季 ハウス

OH-2750型

組立説明書

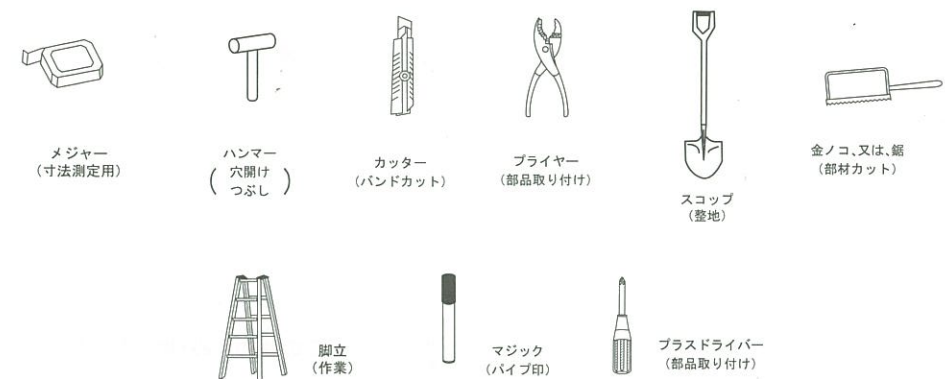
この度は、当社の製品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
 この商品の組立て作業は、成人男性2人以上で行ってください。
 組み立てる前に部材表一覧表と梱包部材に相違が無いことを確認し
 (小さい部品の管理に注意する)、『安全上の注意』を良くお読みになり
 安全に作業してください。



	(ケース名)	(部品No)	(寸法)	(数量)
○各組み立て手順の項目ごとに	Aケース	①	25×160cm	22本

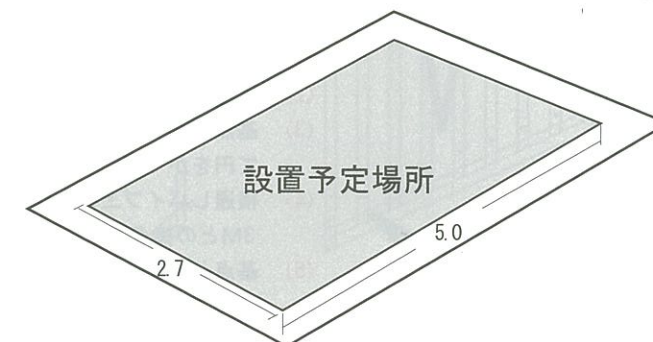
の表示があります
 その項目で使用する部材ですので、先ず揃えて下さい。
 ○各項目ごとに組み立て手順／イラストを一回良くお読みになってから作業を進めて下さい。

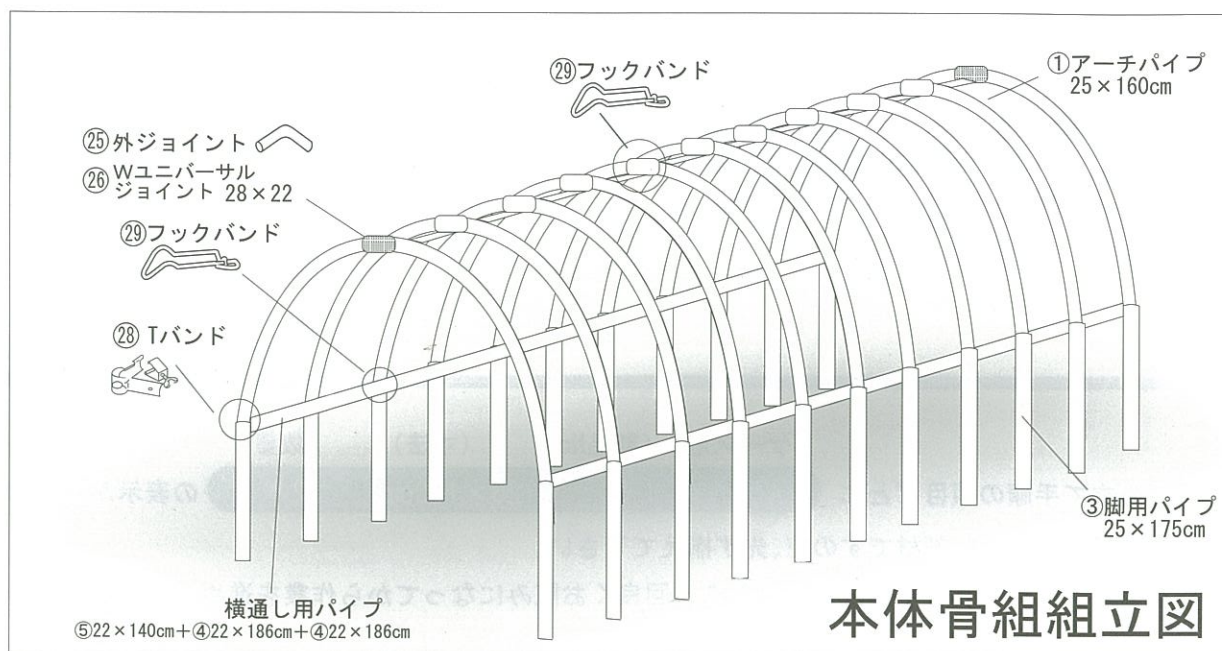
① 必要工具を準備する。



② 整地をする。

作業性を考えて広めに整地して下さい。





まず、本体骨組を組み立てます。③～⑨までで上記骨組みが完成します。その後、後部、前部と組み立てていきます。

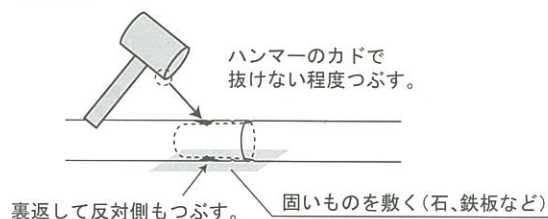
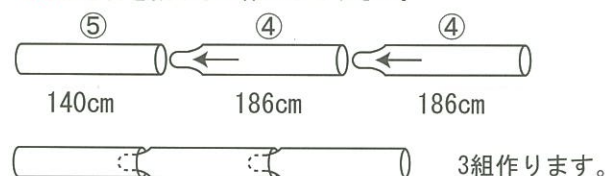
③ 横通しパイプを継ぎ印を付ける。

C ケース ④ 22×186cm 6本

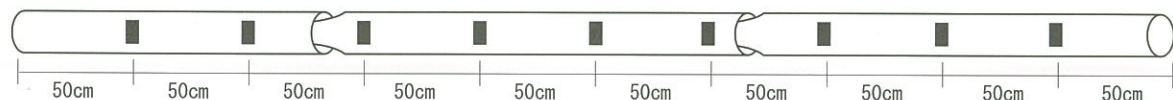
C ケース ⑤ 22×140cm 3本

- (1) ④と④を差し込み、⑤に差し込んで下さい。
- (2) 継いだ横通しパイプに50cmごとに印を付けて下さい。
- (3) 継ぎ目を抜けない様にして下さい。

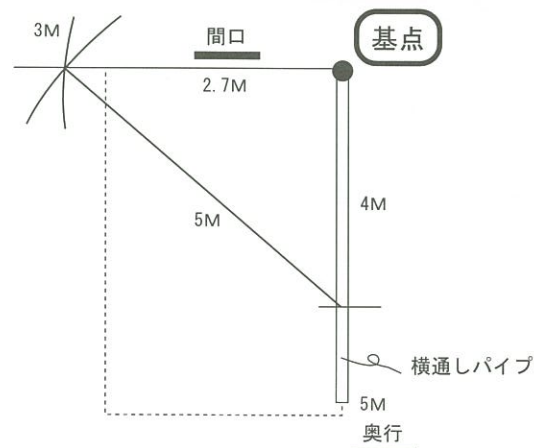
⚠ 全ての継ぎ目を抜けない様につぶして下さい。
(完成後、風などの揺れで、抜ける事があります。)



50cm間隔に印を付けて下さい。⚠ 脚用パイプの埋め込み・取り付け位置となります。



④ 基点を決め、直角を出す。

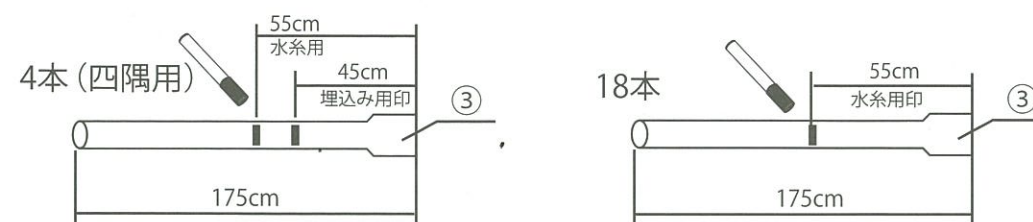


○直角を出す方法

- (1) 基点を決める。
- (2) 横通しパイプを1本置く。
- (3) 基点から4M(横通しパイプに対して)・3M(間口に対して円をかく様に)印を付ける。
- (4) 横通しパイプ上の4Mの印から5M(円をかく様に)とり、3Mとの接点をだす。
- (5) 基点と接点に線をひき、基点より2.7Mに印を付ける。

⑤ 脚用パイプに印を付ける。

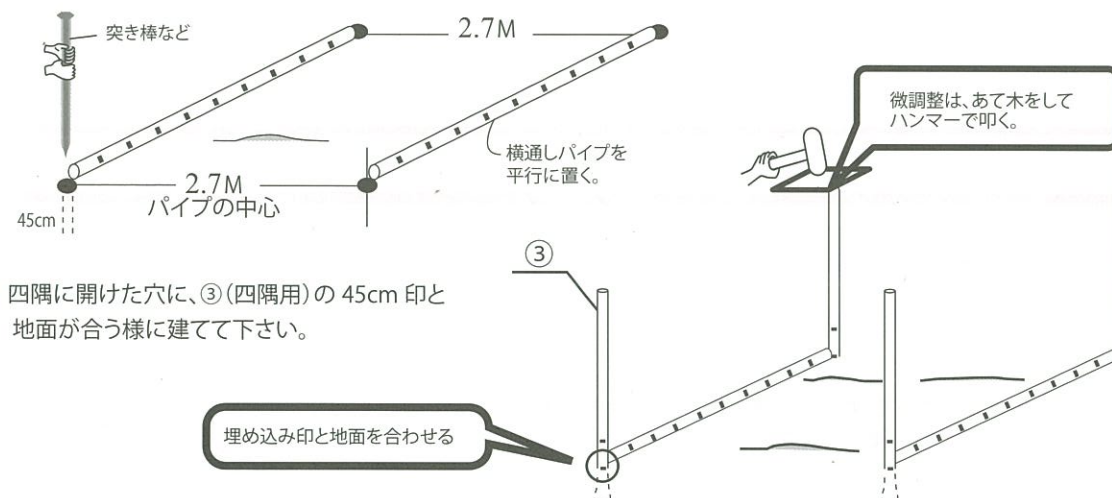
B ケース ③ 25×175cm 22本



マジックで印を付ける。

⑥ 脚用パイプを建てる

- (1) 継いだ横通しパイプを2.7m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に約45cmの穴を掘る。

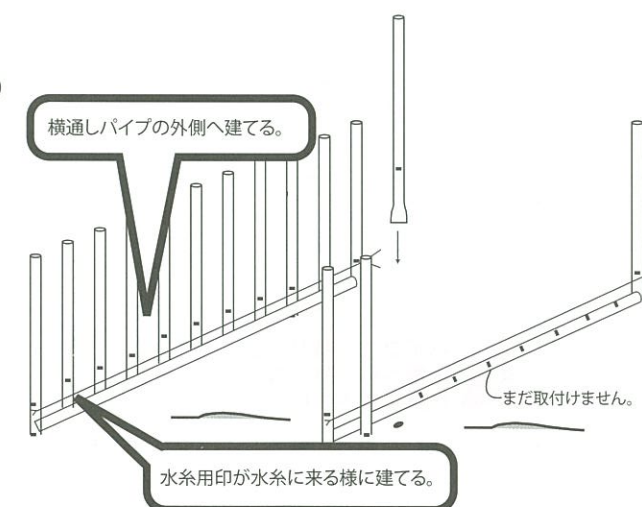
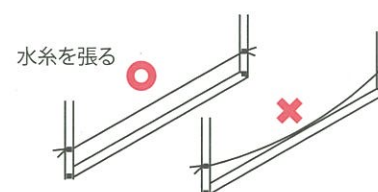


- (2) 四隅に開けた穴に、③(四隅用)の45cm印と地面が合う様に建てて下さい。

埋め込み印と地面を合わせる

E ケース ④③ 水糸 1個

- (3) 四隅に建てた③のパイプに付けた印(水糸用 55cm)に、④③を結び付け、張る。
- (4) 横通しパイプに付けた印(50cm 間隔)の位置に約 45cm 穴を掘る。
- (5) 残りの③のパイプを建てる。
(張った水糸と、③のパイプの水糸用印(55cm)が、合う様に建てる。)

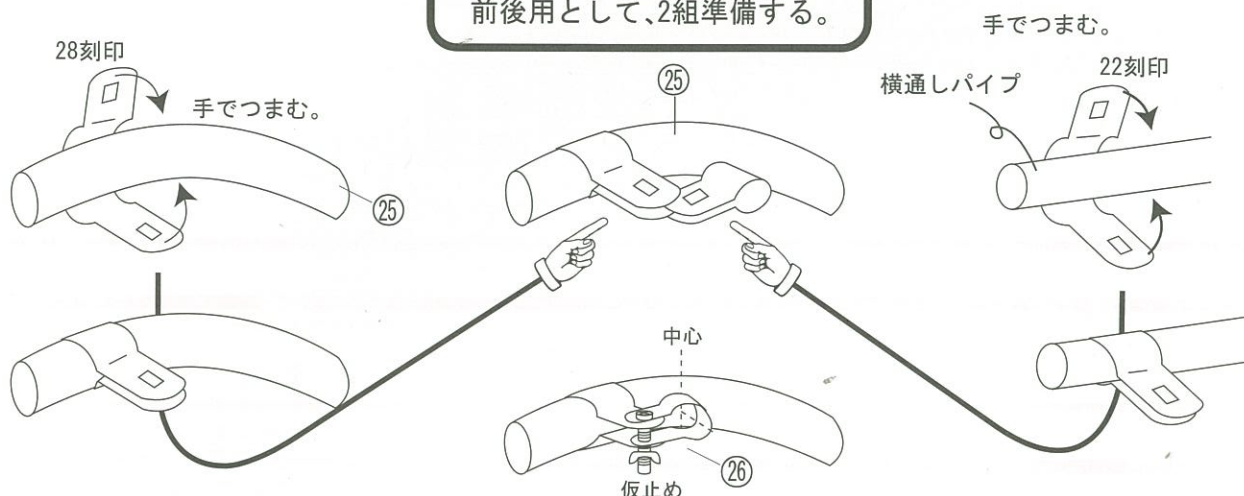


7 外ジョイントに部品を取り付ける。

Eケース ②⑤ 外ジョイント 2本 Eケース ②⑥ ユニバーサルジョイント 2組

- ②⑥の部品を一旦バラして、②⑤に28(刻印)・横通しパイプに22(刻印)を、それぞれ合わせて形を作して下さい。
- 形を作った②⑥を②⑤で組み合わせて下さい。

前後用として、2組準備する。

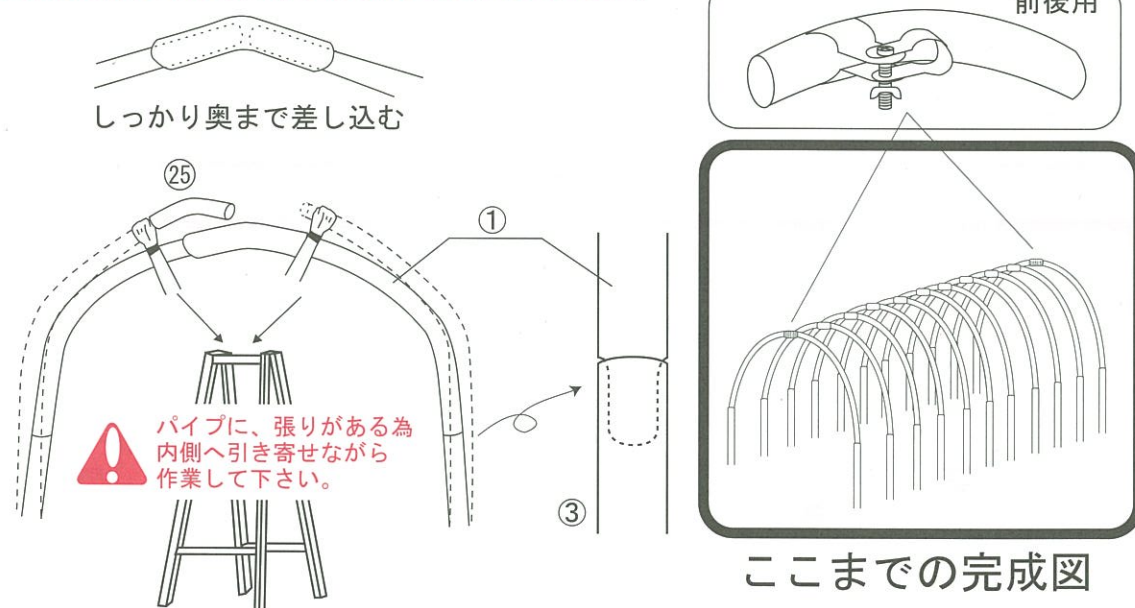


8 アーチパイプを脚パイプに差し込み、組む

A ケース ① 25×160cm 22本 Eケース ②⑤ 外ジョイント 9本

- ①の先の細い方を③に、差し込んで下さい。
- ②⑤を①に差し込み、継ぐ。7 で作った2組は、最前と最後に使用して下さい。

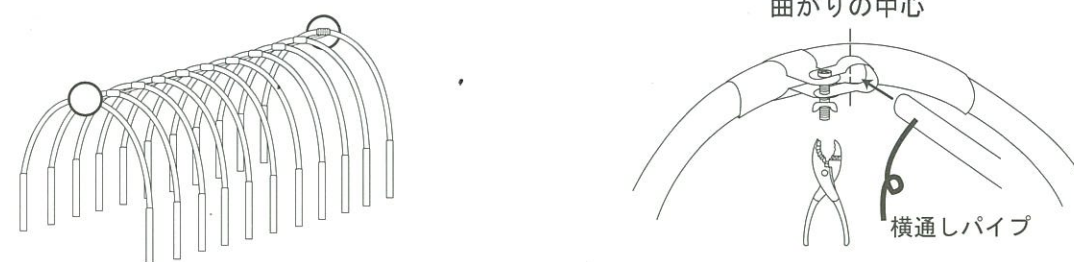
⚠ 上から押さえ込む様にとすると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないで下さい。



9 横通しパイプを本体内側に取り付ける。

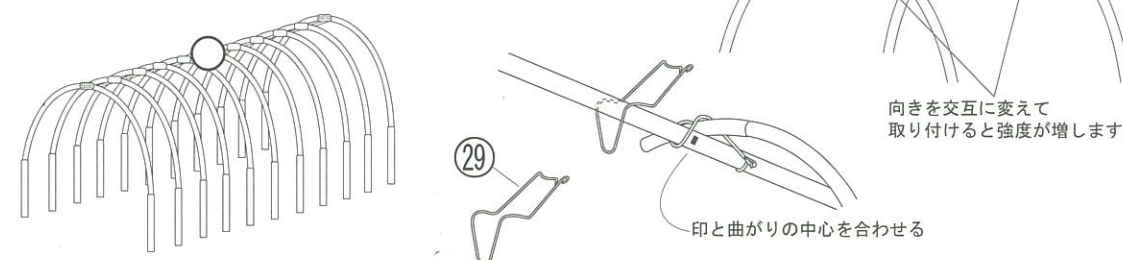
- 図の順番に横通しパイプを取り付けて下さい。

前後2箇所に取り付けて下さい。



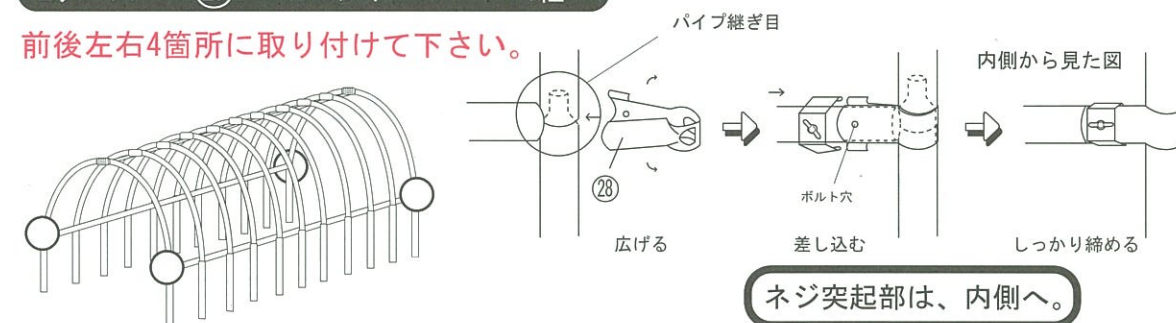
Eケース ②⑨ フックバンド 9個

天井9箇所に取り付けて下さい。



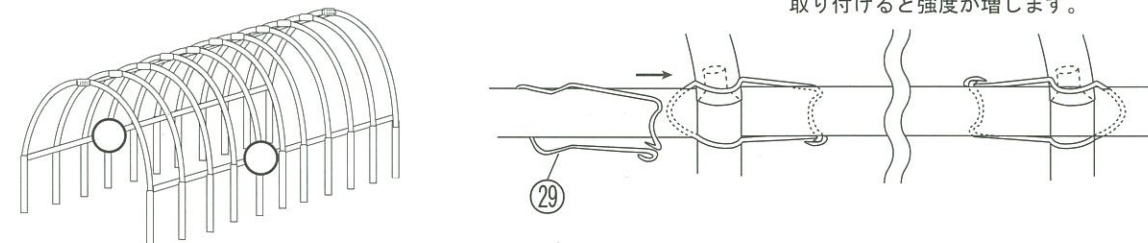
Eケース ②⑧ Tバンド 4組

前後左右4箇所に取り付けて下さい。



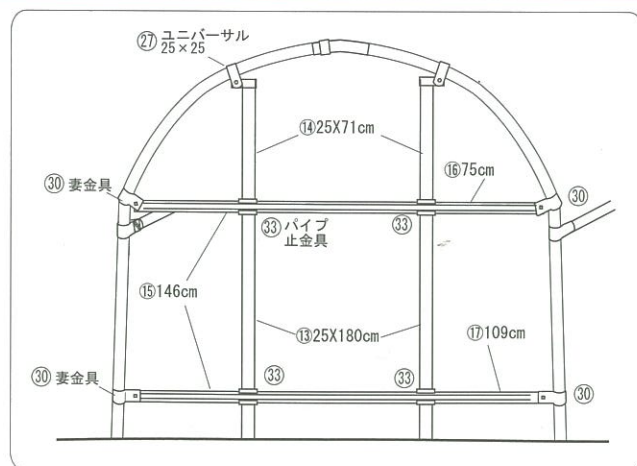
Eケース ②⑨ フックバンド 18個

左右18箇所に取り付けて下さい。



本体骨組完成

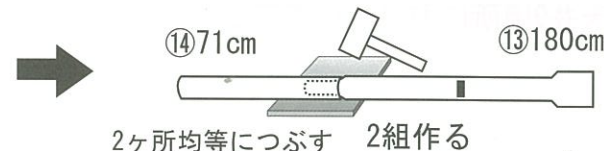
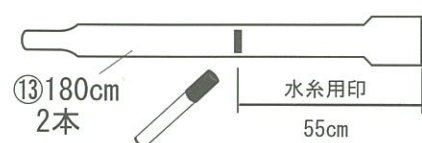
10 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)



C ケース ③③ 25×180cm 2本

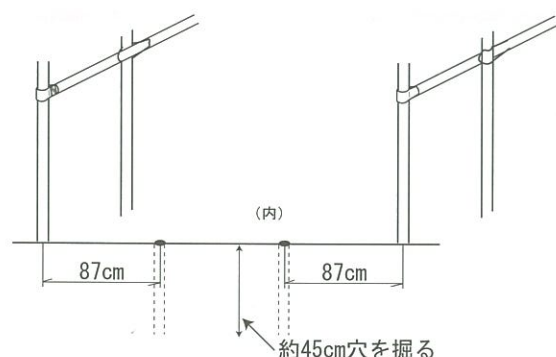
C ケース ③③ 25×71cm 2本

E ケース ②⑦ ユニバーサルジョイント25×25 2組

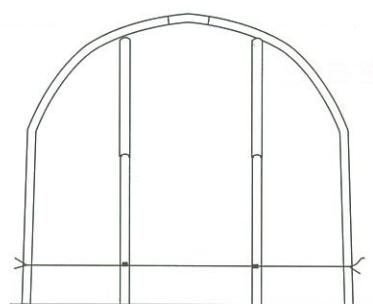


※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。その時、下に固いものを敷く。

(2) 下図の位置に、約45cm穴を掘る。

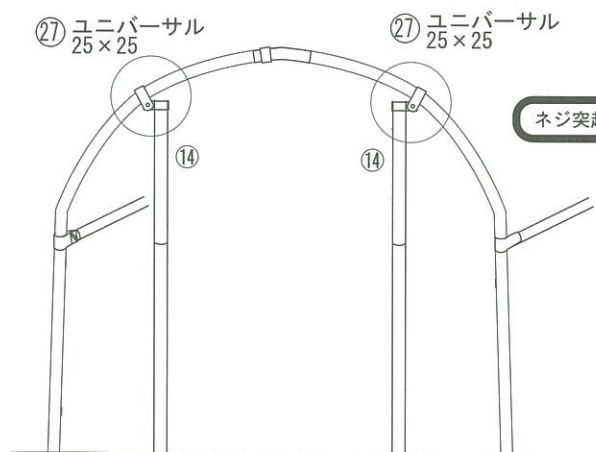


(3) 間口両端脚パイプの水系用印に水系を張り、③③の印が合う様に建てて下さい。

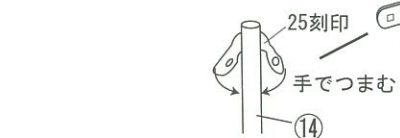


(5) アーチパイプと③③パイプの接点を②⑦でとめてください。

②⑦ ユニバーサル 25×25



ネジ突起部は、内側へ。



11 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)つづき

C ケース ③③ ビニバー 146cm 2本

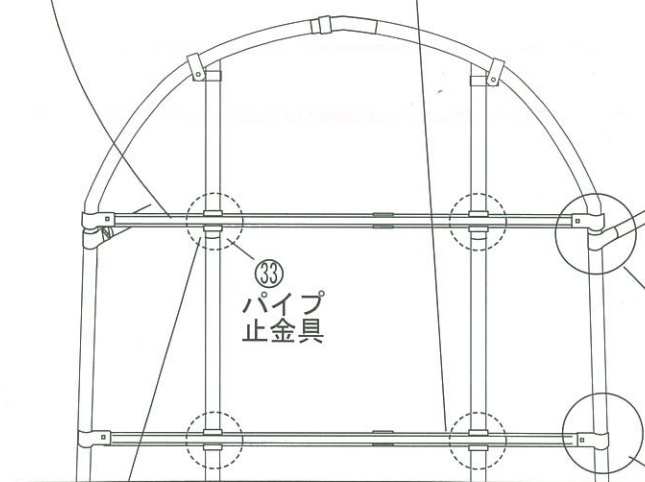
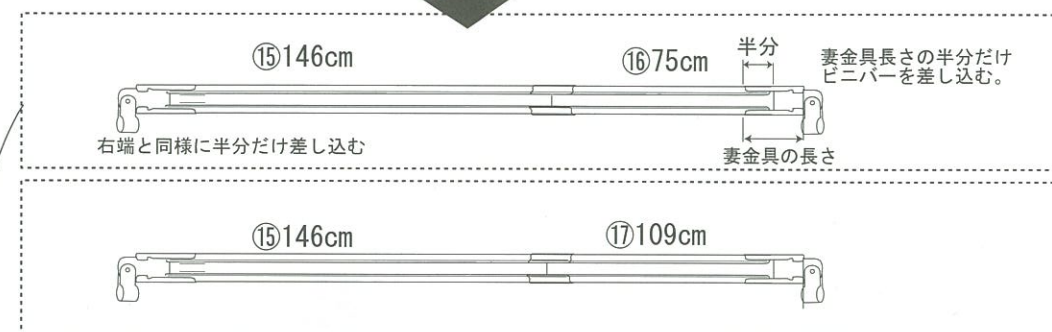
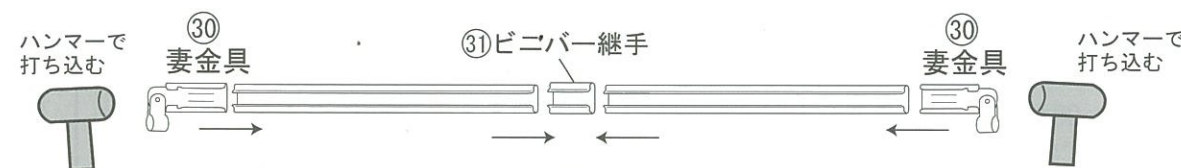
C ケース ③③ ビニバー 75cm 1本

C ケース ③③ ビニバー 109cm 1本

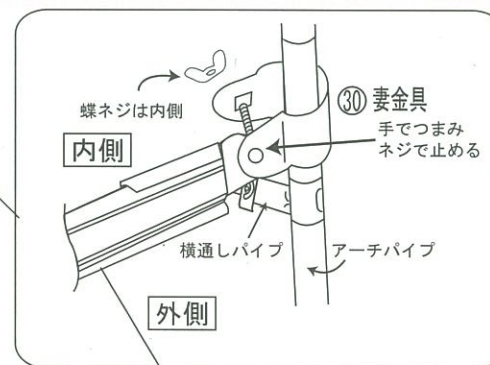
E ケース ③③ 妻金具 4個

E ケース ③③ ビニバー継手 2個

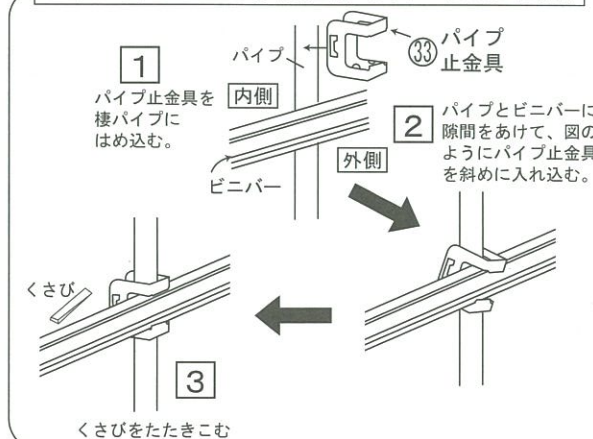
E ケース ③③ パイプ止金具 4個



ビニバーは棲パイプの外側に取り付ける。

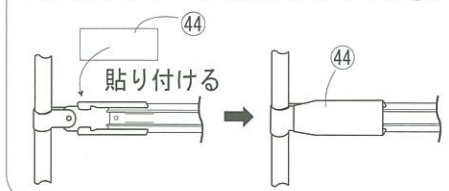


パイプとビニバーが交差するところの止め方

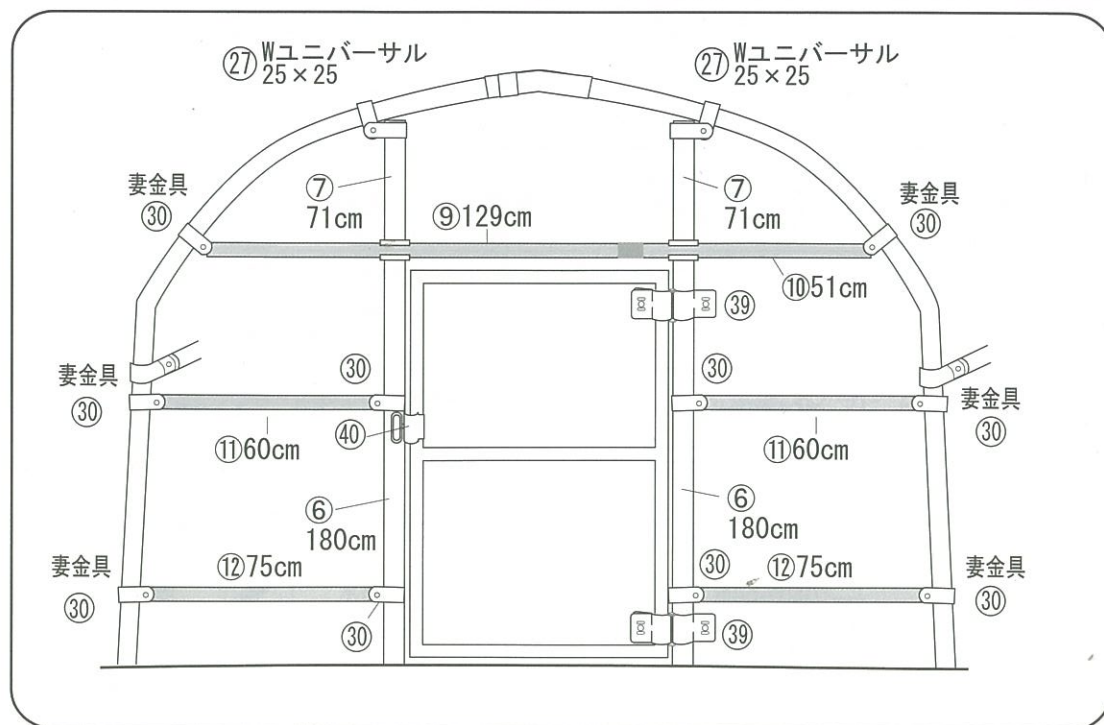


組み立てたビニバーが長いまたは短い場合は妻金具の差込み具合で調節してください。

④④ スポンジテープを貼り付けてください



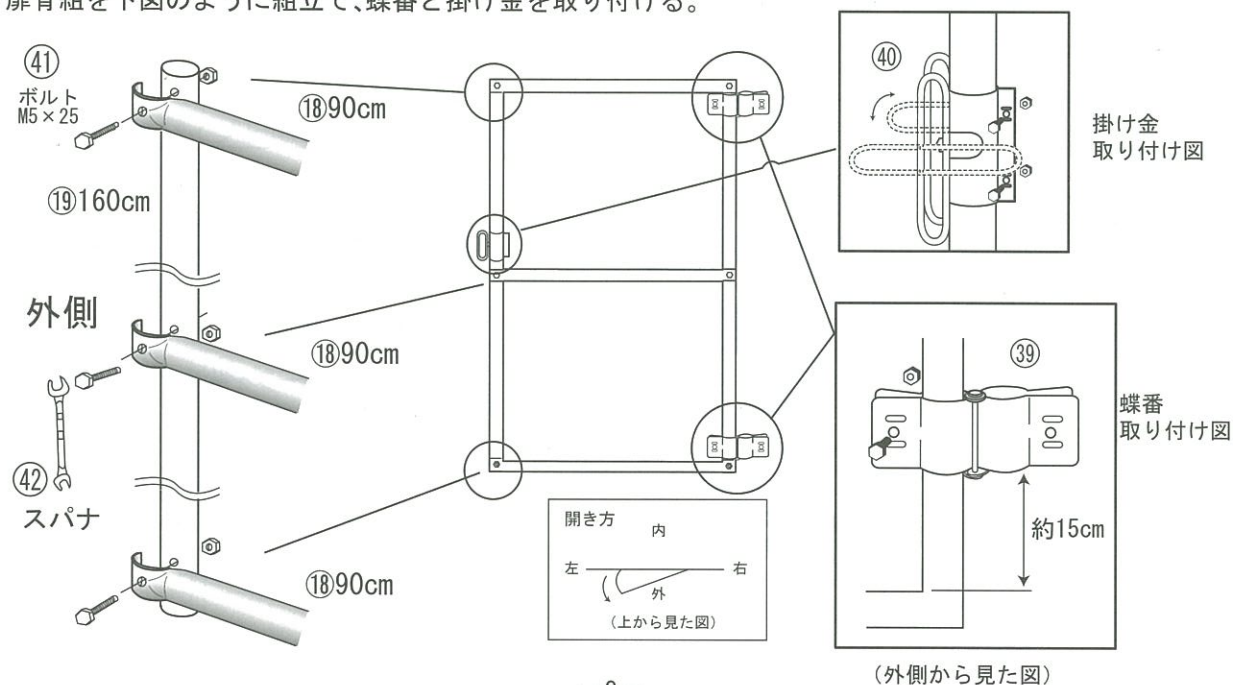
前パイプ組み立て(出入り口)



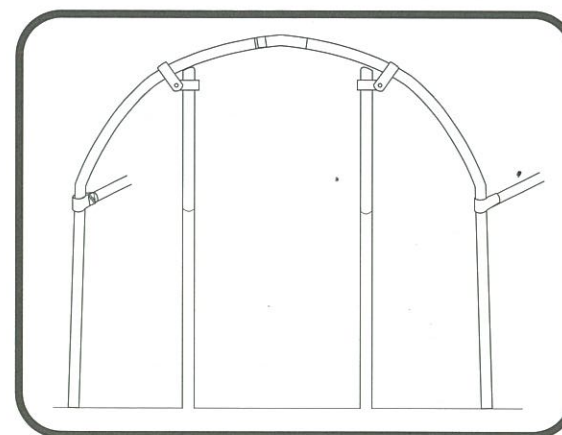
12 扉を組み立てる。

Cケース ⑮	19×90cm	3本	Eケース ④①	ボルト・ナット	各6個
Cケース ⑮	19×160cm	2本	Eケース ④②	掛金	1個
Eケース ④③	スパナ	1個	Eケース ③⑨	蝶番	2個

扉骨組を下図のように組み立て、蝶番と掛金を取り付ける。



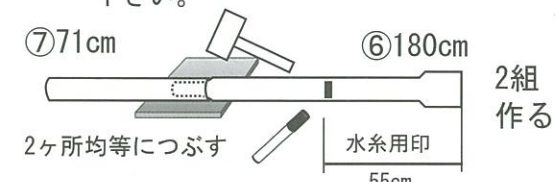
13 前パイプ組み立て(出入り口) つづき



12 で組立てた 扉

Cケース ⑥	25×180cm	2本
Cケース ⑦	25×71cm	2本

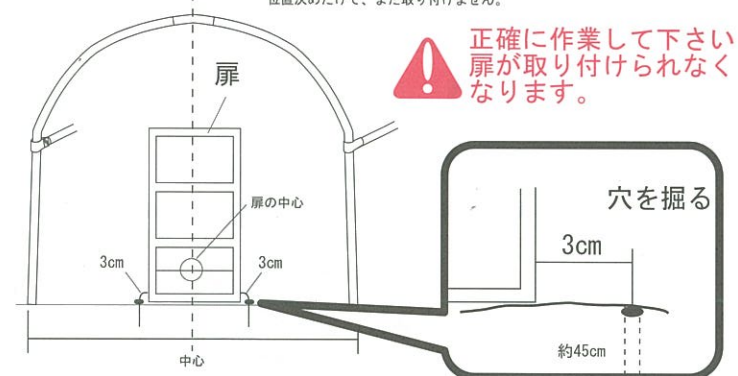
(1) ⑥前棲パイプに、印を付けて⑦と継いで下さい。



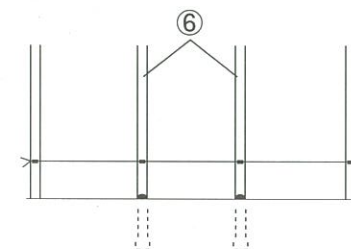
※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。その時、下に固いものを敷く。

(2) 間口と扉の中心を合わせて、扉の両端より左右3cmの位置に約45cm穴を掘る。

位置決めだけで、まだ取り付けません。



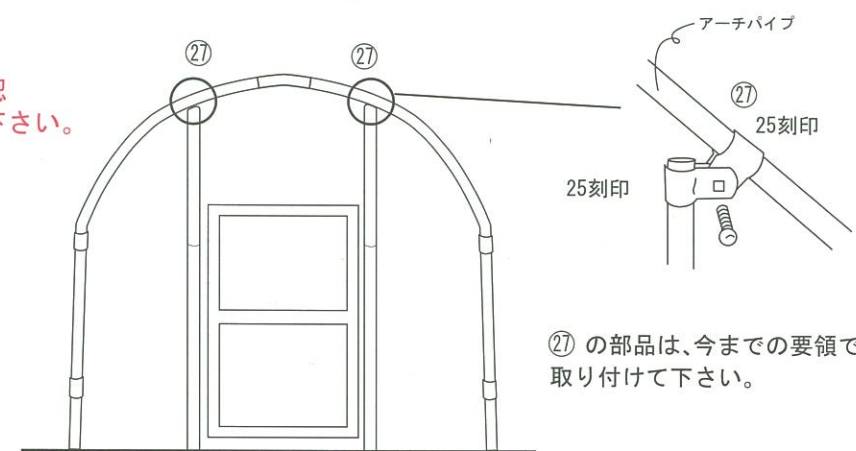
(3) 間口両端脚パイプの水系用印に水系を張り、⑥の印が合う様に建てて下さい。



Eケース ②⑦ ユニバーサルジョイント 25x25 2組

下図のようにパイプの先端部とアーチパイプの接点を②⑦で止めて下さい。

⚠ 扉との間隔を確認しながら止めて下さい。



14 前後パイプ組み立て(出入り口) つづき

Cケース ⑨ ビニバー 129cm 1本

Cケース ⑩ ビニバー 51cm 1本

Cケース ⑪ ビニバー 60cm 2本

Cケース ⑫ ビニバー 75cm 2本

Cケース ⑧ 戸受けパイプ 120cm 1本

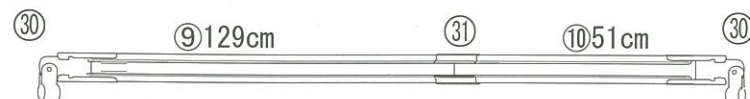
Eケース ③① ビニバー継手 1個

Eケース ③③ パイプ止金具 2個

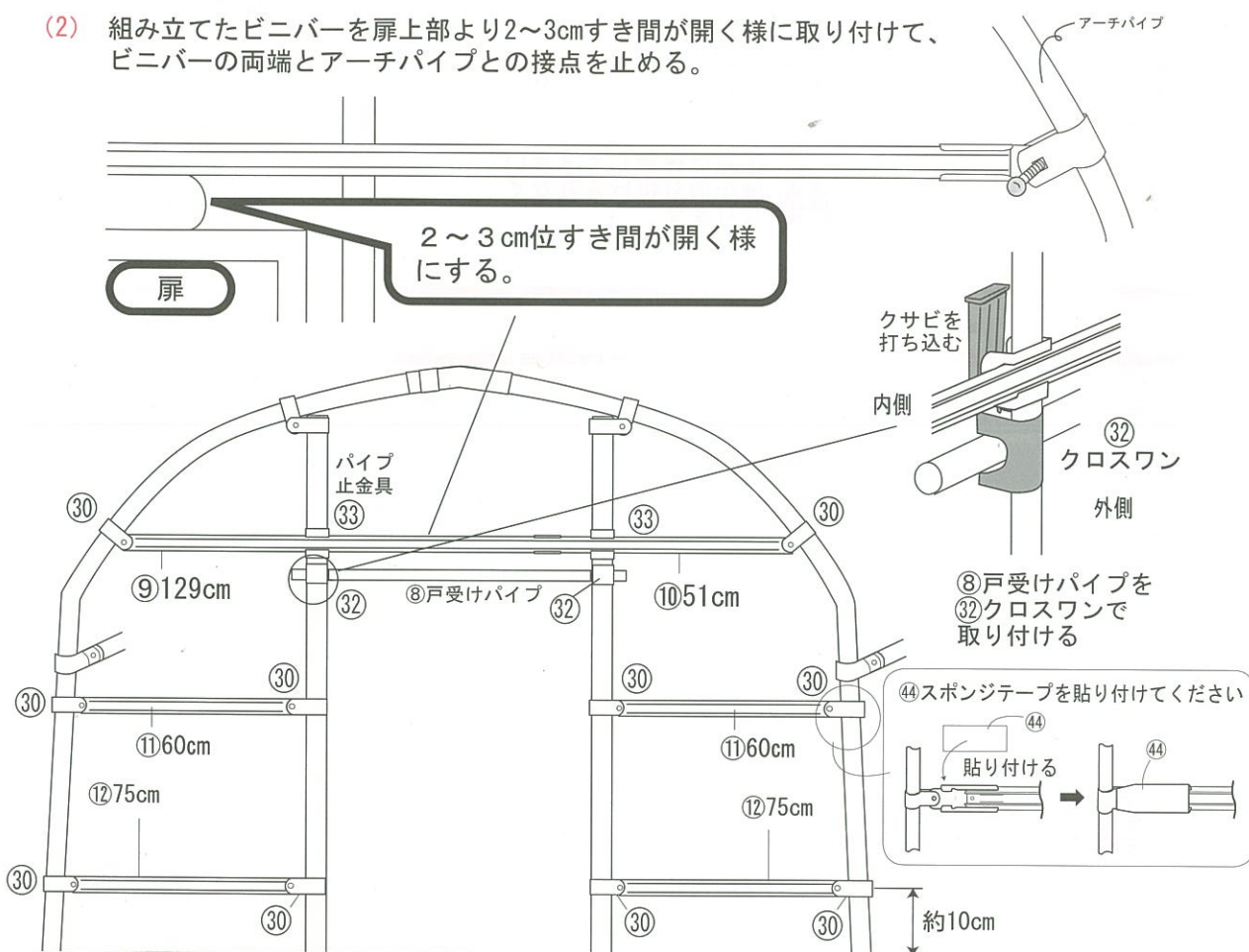
Eケース ③⑥ 妻金具 10個

Eケース ③② クロスワン 2個

(1) 今までの要領で下図のようにビニバーを組み立てる。



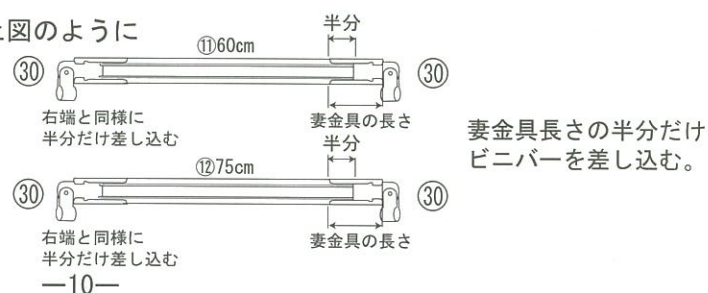
(2) 組み立てたビニバーを扉上部より2~3cmすき間が開く様に取り付けて、ビニバーの両端とアーチパイプとの接点を止める。



(3) ⑪60cmと⑫75cmに③⑥妻金具を取り付け、上図のように取り付けてください。

(4) ③③パイプ止金具を今までの要領で取り付けてください。

(5) ⑧戸受けパイプをクロスワンを使い上図のように取り付けてください。

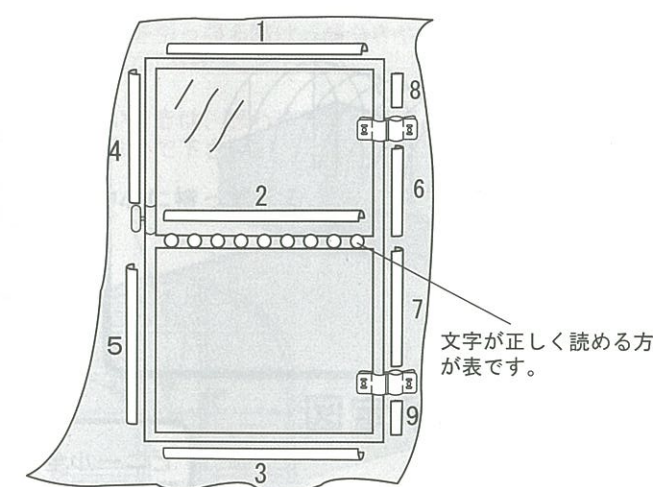
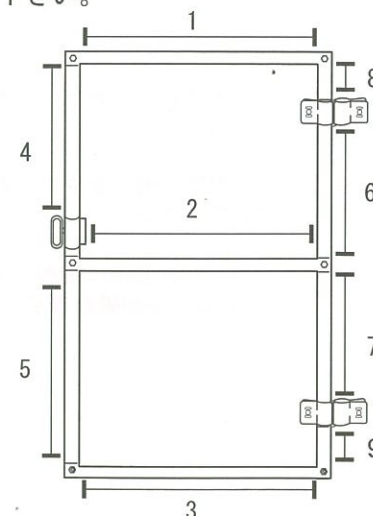


15 扉にビニールを張る。

Cケース ②① ロングパッカー

Dケース ②④ 扉ビニール

扉にビニールを張り付ける為に、②①を切り揃えて下さい。



②①ロングパッカーを各1~9の寸法に金ノコノコギリでそれぞれ切る。

- ②①は、カッターで無理に切ろうとすると非常に危険ですので絶対にカッターでの作業はしないで下さい。
- カナノコノコギリ使用の際は、ケガをしないよう注意して下さい。

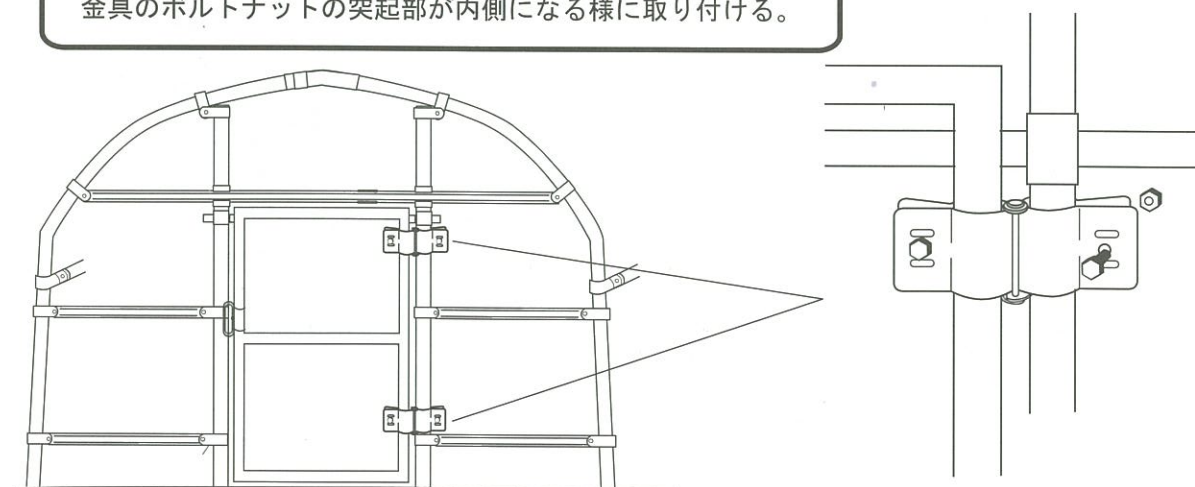
○ビーンと張りながら、各数字の順番に取り付ける。
(あまり強く張りすぎると取り付けにくいです)
○風などによりはずれない様にキツくなっています。
○取り付け、取り外しを何回もされるとビニールが破れますので注意して下さい。

- ②①は1回で取り付ける様に止めて下さい。
(何回もやり直すとビニールが破れます。)
- ②①は、はずれにくい様にきつくなっていますので、内/外側から同様に抑え込む様に取り付ける。

16 扉を本体に取り付ける。

取り付け後、開閉がスムーズに出来るか確認して下さい。

金具のボルトナットの突起部が内側になる様に取り付ける。

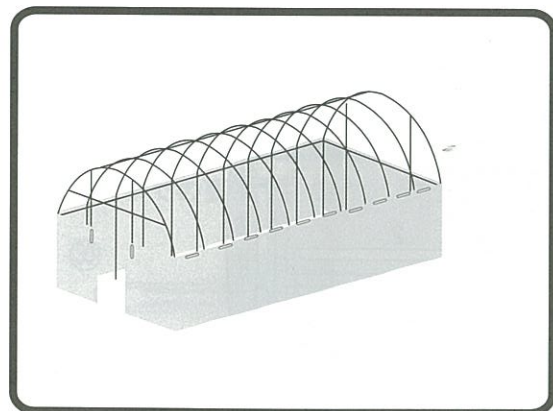


17 側ビニールを張る。

Dケース ②③ 側ビニール

Eケース ③④ パッカー 8本

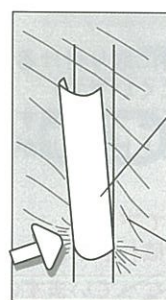
Eケース ③⑤ パッカー 20本



完成予定図

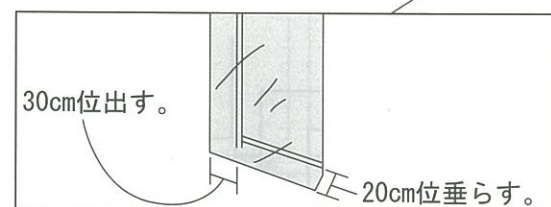
- ⚠ 作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意して下さい。
- ⚠ ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。
- ⚠ パッカーは1回で取り付ける様に止めて下さい。(何回もやり直すとビニールが破れます。)

ビニール全体を均一な力で引っ張りながら、各パイプの横通しパイプにパッカーで取り付ける。



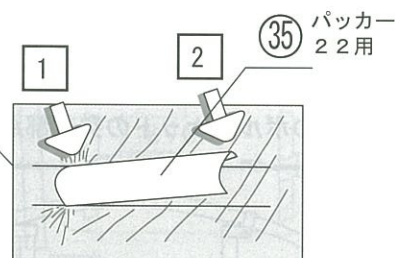
③④
パッカー
25用

前は全てをはめずに、
片方だけ差し込み、
仮止めにする。

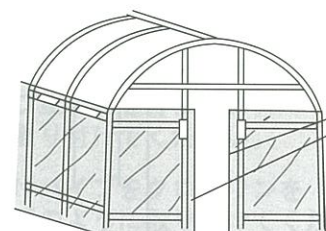


30cm位出す。

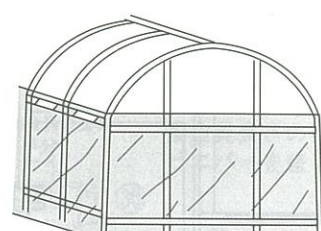
20cm位垂らす。



横通しパイプに、斜めに差し込む



前 (仮止め)

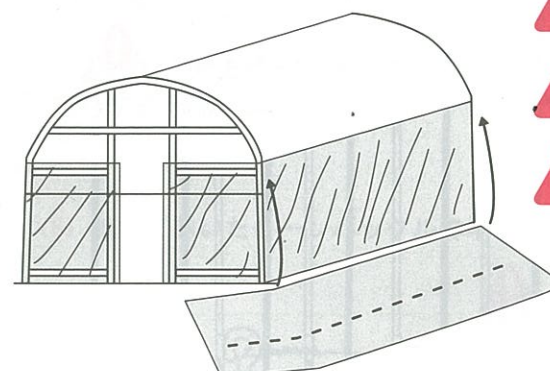


後

18 天ビニールを被せる。

Cケース ②⑩ スプリング

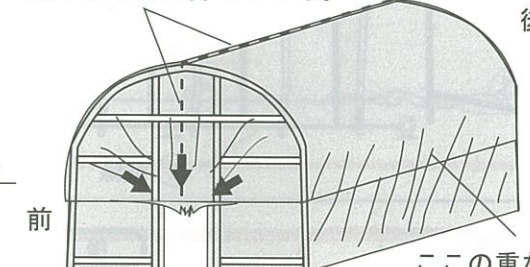
Dケース ②⑪ 天ビニール



文字が正しく読める方が表です。

- ⚠ 作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意して下さい。
- ⚠ ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。
- ⚠ 風の強いときは、思わぬ力で引っぱられますので作業しないで下さい。

文字を中心を持ってくる。

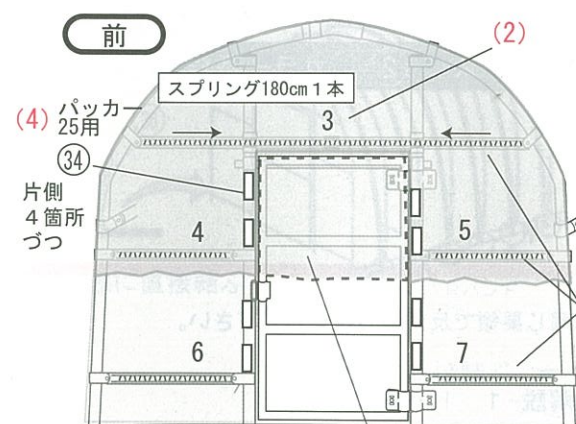


後

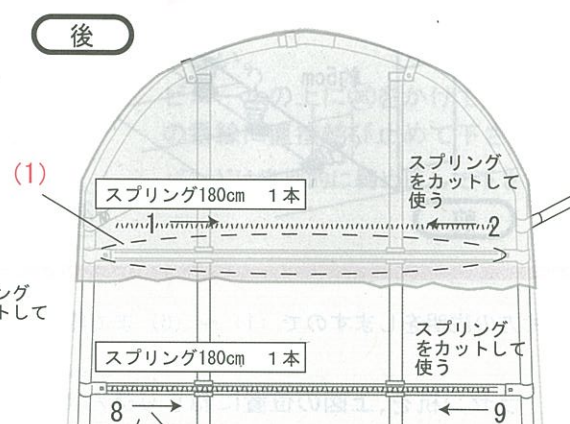
前

前後からビニールがピンと張るように
引っ張りながら中心によせる。

この重なり部分を
左右同じにする。



前

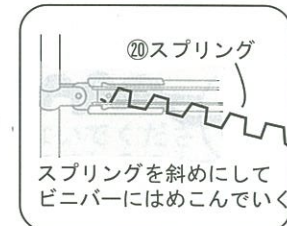


後

(5) 切り取る。

(3) スプリングは端の方から内側へ
向かって止めていく

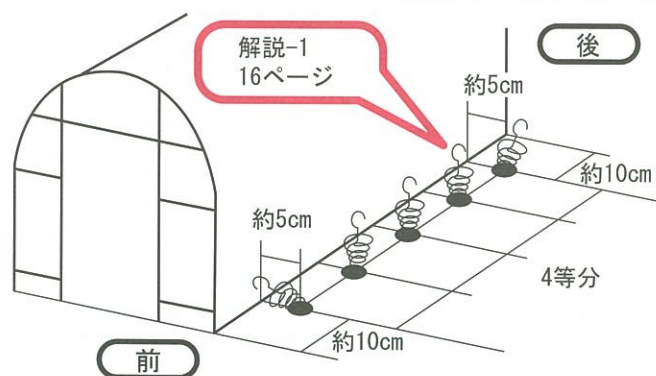
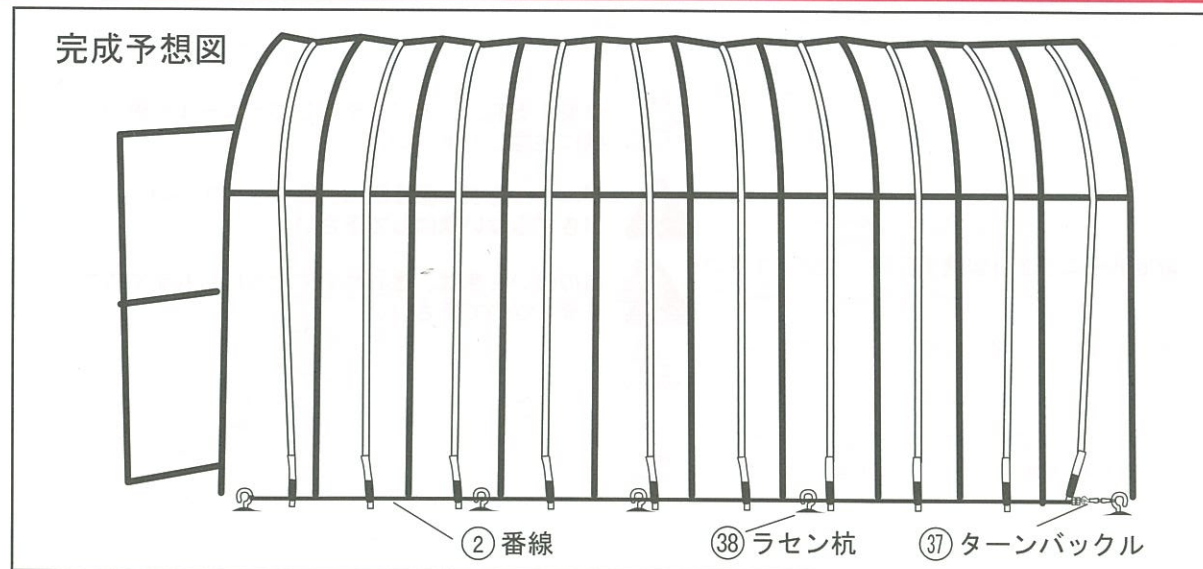
- (1) 前後左右のかさなり部分を確認しながら、
後の点線部分を天ビニールと側ビニールを
一緒に②⑩でとめてください。
- (2) 前の方に天ビニールをピンと張りながら、
前の方を数字の順番に止めて下さい。
- (3) 後の方の側ビニールを数字の順番に止めて下さい。
- (4) 前図の位置にパッカーでビニールを止めて
ください。(左右8箇所)
- (5) 前の扉部は、15cm位残して切り取って下さい。
※前後の天ビニール下端部は、特にそのままでも
構いませんが、切り取られる際はケガ・切りすぎ
等に注意して下さい。



スプリングが交わる場所は
重ねて止める

19 ラセン杭をねじ込む。

完成予想図



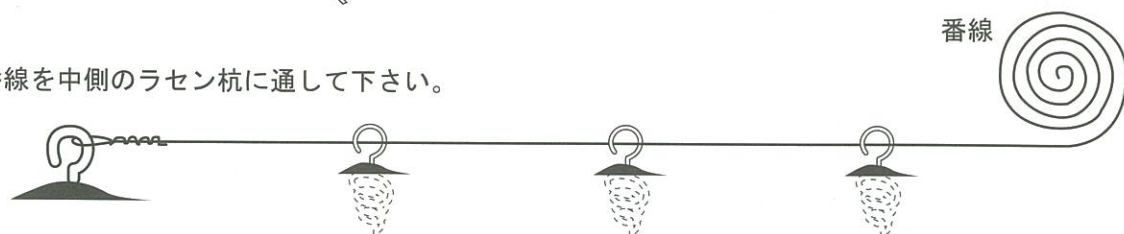
Eケース	③⑧	ラセン杭	10本
Eケース	③⑦	ターンバックル	2本
Aケース	②	カラー番線	

まず片方の説明をしますので(1)～(6)まで終わりましたら同じ要領で反対側も作業して下さい。

- (1) ラセン杭を、上図の位置にねじり込んで下さい。(解説-1 16ページ)
- (2) 端のラセン杭に、②カラー番線を引っかけてしっかり止めて下さい。

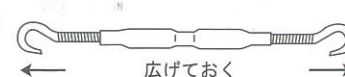


- (3) 番線を中側のラセン杭に通して下さい。



- (4) ターンバックルを、片端のラセン杭に引っかけて下さい。

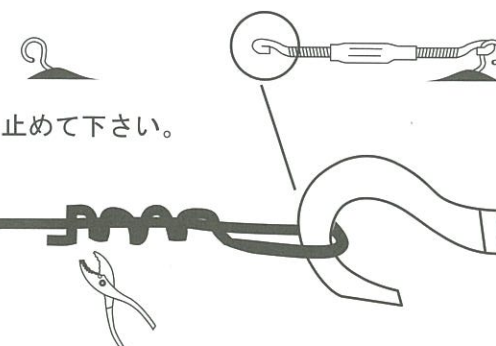
取り付ける際に、最大に近い所まで広げて下さい。



- (5) ターンバックルに②カラー番線を引っかけてしっかり止めて下さい。



番線をピンと張って止める。



- (6) 弛めておいたターンバックルのネジ部を締めて下さい。



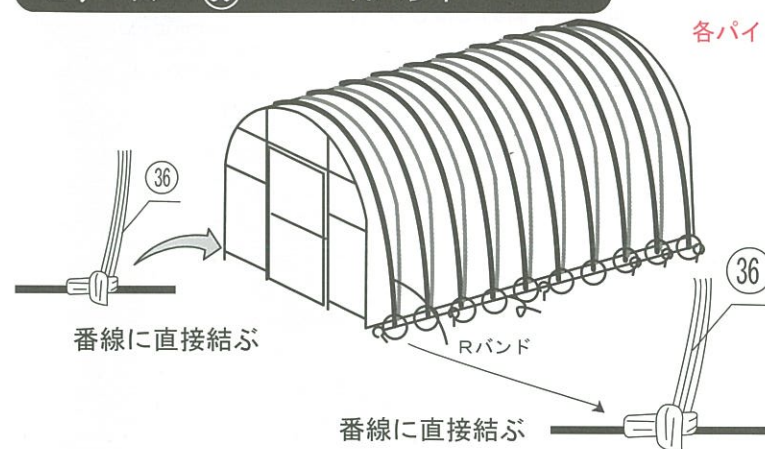
番線がピンと張る位に。



20 ビニールを押える。

Eケース ③⑥ Rバンド

各パイプの間にバンドを張ります。!



- (1) 片方の番線に③⑥を直接結び止めて下さい。
 - (2) ビニールの上に③⑥をかけて反対側の番線に直接結び止めて下さい。
- ※ バンドは定期的に締め直して下さい。

- 商品をも永くご愛用していただく為にも下記事項をお読み下さい。
- 規格等が分かるように、全ての用紙を保管して下さい。

●ビニールについて

- ビニールを燃やすと有害なガスを発生しますので絶対に燃やさないでください。
- 側ビニールを巻き上げたままにしておくと下ろす際にくっついて破れることがありますので注意してください。
- 替えビニールの販売もしています。

●パイプについて

- パイプは特殊亜鉛メッキ加工を施してありますが、長年ご利用されていると切り口等からサビが発生します(設置条件等で年数は変わります)ので、そのまま使用されると接触したビニールが破れます。錆付いたパイプ(部品含む)は交換してください。

●バンドについて

- 長年利用されていると、老朽等により劣化します。(設置条件等で年数は変わります)ので、そのまま使用されると接触したビニールが破れますので、劣化したバンドは交換してください。

